

中部地方整備局は、東日本大震災から3年の節目を迎えるにあたり、東日本大震災の教訓を共有し、南海トラフ巨大地震等の巨大自然災害に備えるため、昨年引き続き「巨大自然災害に備える!」をテーマに名古屋大学とともに「TV会議システムを活用した情報共有デモンストレーション」、災害対策用機械の展示、防災講演会、参画頂いたNPO等の機関によるパネル展示等を行いました。

午前中の名古屋大学減災館の視察と合わせ地域住民、学生、業界団体の方々、のべ750名の来場者を数え、「防災講演会」等で立ち見が出るほどで、大変好評を博しました。

なお、この様子は、TV局をはじめ多くの報道機関により報道されました。

東日本大震災を忘れない

3.11
伝える
鍛える
備える

国土交通省 中部地方整備局

概要

1, 日時:H26.3.27(木)13:30～17:00

2, 来場者数:のべ750名*

* 午前中の減災館ツアー来場者数含む

3, 実施内容

- ・名古屋大学と中部地方整備局
「TV会議システムを活用した情報共有デモ」
- ・「防災講演会」
福和伸夫名古屋大学減災連携研究センター長
- ・パネル、被災物等展示
- ・映像放映
 - 「東日本大震災時の様子」
 - 「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」
- ・災害対策車両展示・紹介

4, 参加機関等

- 主催: 国土交通省中部地方整備局
国立大学法人名古屋大学減災連携研究センター
- 共催: 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議
(公社)土木学会中部支部
(公社)地盤工学会中部支部
- 協力: 特定非営利活動法人レスキューストックヤード
なごや防災ボラネット
特定非営利活動法人チームレスキュー
中部地方巨大災害タスクフォース
(一社)中部地域づくり協会

開会式(局長挨拶)



災害対策車両 紹介 操作体験



防災講演会



パネル・被災物展示

